別紙１　財産処分承認申請書（補助条件を承継する牛を導入する場合）

財産処分承認申請書

番　　　号

年　月　日

一般社団法人家畜改良事業団

　理事長　　　　　　　殿

住　　　所

団　体　名

代表者氏名

令和　　年度酪農経営支援総合対策事業（地域の生産体制強化事業：後継牛バンク推進対策）補助金により取得した財産について、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和３０年法律第１７９号）第２２条の規定に基づき、下記のとおり処分したいので、畜産業振興事業により取得した財産の処分の取扱い１の（１）の規定により、承認申請します。

記

１　処分の理由及び今後の利用方法等

（１）処分を行う理由

　○○による不妊のため

（２）今後の利用方法（処分区分：目的外使用　補助事業の継続）

個体識別番号00000-0000-0を代替牛として導入し、補助条件を承継する。

今後代替牛を導入し、補助条件を承継する。※

導入後は個体識別番号等を別途報告する。※

（※代替牛の個体識別番号が未定の場合に記入。

　　この別途報告の場合の様式は、別紙２を参照。）

２　処分の対象財産

（１）生産者集団等名：○○県酪農業協同組合

（２）財産の名称、補助事業名、所在、型式、数量

ア　財産の名称：乳用種雌牛

イ　補助事業名：令和　　年度酪農経営支援総合対策事業（地域の生産体制強化事業：後継牛バンク推進対策）

ウ　所在　　　：　　県　　市

エ　型式　　　：－

オ　数量　　　：１頭

（３）事業費、補助金額、補助率

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 導入経費（円） | 補助金額（円） | 補助率 |
|  |  |  |

　　注：補助率は、小数第２位を四捨五入

（４）耐用年数（処分制限期間）、経過年数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 個体識別番号 | 耐用年数（処分制限期間） | 経過年数 |
|  |  |  |

　　注：経過年数は、○年○月と記入し、当月の過半日数となる場合は、1か月として算出した。

３　処分予定年月日

　　　この申請書が、処分の事後となる場合は、「予定」の文字を削除すること。

４　その他参考資料

（１）獣医師の診断書（死亡の場合は死亡診断書）等の写し

（２）乳用種初妊牛の台帳の写し

（３）処分を行う牛の導入時の購入伝票の写し

（４）代替牛の詳細が分かる資料（購入伝票、血統証明等）

別紙２　　　財産処分に関する代替牛の導入についての報告書

事務連絡

年　月　日

一般社団法人家畜改良事業団

　情報分析センター　御中

住　　　所

団　体　名

担当者の所属、氏名

令和　　年度酪農経営支援総合対策事業（地域の生産体制強化事業：後継牛バンク推進対策）補助金により取得した財産について、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和３０年法律第１７９号）第２２条の規定に基づき、令和　年　月　日付け　　　　　号にて財産処分承認申請した後継牛は下記のとおりですので報告いたします。

記

　１　代替牛の個体識別番号

　２　代替牛に係る資料

　　（１）購買請求書、購買通知明細書等

　　　　　（注；当該代替牛の購入先（都道府県）及び当該代替牛の月齢がわかるもの）

　　（２）乳用種初任牛管理台帳（当該代替牛を導入した後のもの）

　　（３）血統登録証明書（注：当該代替牛の所有権が移動していることが確認できるもの）

別紙３　財産処分承認申請書（補助条件を承継する牛を導入しない場合）

財産処分承認申請書

番　　　号

年　月　日

一般社団法人家畜改良事業団

　理事長　　　　　　　殿

住　　　所

団　体　名

代表者氏名

令和　　年度酪農経営支援総合対策事業（地域の生産体制強化事業：後継牛バンク推進対策）補助金により取得した財産について、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和３０年法律第１７９号）第２２条の規定に基づき、下記のとおり処分したいので、畜産業振興事業により取得した財産の処分の取扱い１の（１）の規定により、承認申請します。

記

１　処分の理由及び今後の利用方法等

（１）処分を行う理由

　○○による不妊のため

（２）今後の利用方法（処分区分：目的外使用　補助事業の中止）

廃用とするため、今後の利用はない

２　処分の対象財産

（１）生産者集団等名：○○県酪農業協同組合

（２）財産の名称、補助事業名、所在、型式、数量

ア　財産の名称：乳用種雌牛

イ　補助事業名：令和　　年度酪農経営支援総合対策事業（地域の生産体制強化事業：後継牛バンク推進対策）

ウ　所在　　　：　　県　　市

エ　型式　　　：－

オ　数量　　　：１頭

（３）事業費、補助金額、補助率

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 導入経費（円） | 補助金額（円） | 補助率 |
|  |  |  |

　　注：補助率は、小数第２位を四捨五入

（４）耐用年数（処分制限期間）、経過年数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 個体識別番号 | 耐用年数（処分制限期間） | 経過年数 |
|  |  |  |

　　注：経過年数は、○年○月と記入し、当月の過半日数となる場合は、1か月として算出した。

３　処分予定年月日

　　この申請書が、処分の事後となる場合は、「予定」の文字を削除すること。

４　その他参考資料

（１）獣医師の診断書（死亡の場合は死亡診断書）等の写し

（２）乳用種初妊牛の台帳の写し

（３）処分を行う牛の導入時の購入伝票の写し

（４）残存簿価の分かる資料

（５）時価評価額の分かる資料